



発行 / 西東京市
編集 / 企画部広報広聴課
〒188-8666
東京都西東京市南町5-6-13

西東京

電話で聞く、
ホームページ情報
「西東京市テレホンウェブ」
0424-66-5811

市役所代表電話 / **0424-64-1311**
ホームページアドレス <http://www.city.nishitokyo.tokyo.jp>
(携帯電話) <http://mobile.city.nishitokyo.tokyo.jp>
(Lモード) Lメニューから検索できます。

今号の主な内容

3面 住民異動の届け出等に 係る本人確認



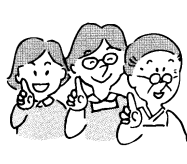
市民課の各種届け出等の受付事務に関して個人情報保護を図るため、5月1日から、市民課、各出張所で本人確認を実施します。

3面 委員会等の委員を 募集します



市民憲章推進検討委員会および生涯学習推進懇談会の委員を募集します。

5面 民生委員・児童委員、 主任児童委員



委員は、厚生労働大臣から委嘱を受け、地域に根ざした福祉活動を行い、行政とのパイプ役を務めます。

10面 高齢者大学受講生 募集



富士町福祉会館で開講する高齢者大学の受講生を募集します。

ひばりヶ丘駅北口基本構想策定の事前調査報告

ひばりヶ丘駅北口まちづくりアンケート調査の結果が まとまりました

「調査対象・方法」ひばりヶ丘駅北口を中心としたおおむね半径1キロメートルの範囲にお住まいの方々(西東京市、東久留米市、新座市)から無作為に抽出した約3千人を対

「ひばりヶ丘駅周辺のまちづくりの推進」は、西東京市基本構想・基本計画のアクションプログラムの一に位置づけられています。特に都市基盤整備の遅れが目立つ北口地区については、今後、北口地区基本構想を定め、早急にまちづくりに取り組まなければなりません。こうした状況を踏まえ、市では、北口地区基本構想策定に向けた事前調査としてアンケート調査を実施しました。

象に調査票を郵送・回収する方法を実施しました。ひばりヶ丘駅や北口商店街など駅周辺の利用状況、現状に対する問題意識、今後のまちづくりに対する課題などをお尋ねしました。

昨年11月に実施した、ひばりヶ丘駅北口まちづくりアンケートの調査結果がまとまったので、概要をお知らせします。なお、調査結果の詳細については、両庁舎の情報公開コーナーおよび市ホームページでご覧になれます。都市計画課(保谷庁舎 ☎内線2411)

	配布数	回収数	回収率
全体	2,998	1,200	40.0
西東京市	1,171	470	40.1
東久留米市	627	253	40.4
新座市	1,200	477	39.8

調査結果 ここでは、特に北口地区に対する問題意識について尋ねた質問を中心に報告します。ひばりヶ丘駅北口地区の最も不満に感じていること(グラフ1) 約半数の人が「安全でないこと」を最も不満に感じており、次に「快適でないこと」となりました。とくに、道が狭いのに車が多く歩きづらいこと、自転車、自動車、バ

スなどが利用しづらいこと、踏切や駅の階段が不便、危険であること、まちが雑然とし風紀や雰囲気が悪いこと、魅力ある店が少ないことなどが問題としてあがりました。ひばりヶ丘駅北口地区の将来像(グラフ2) 6割の人が「南口と一体となった交通機能のまち」をあげました。次に「駐輪・駐車機能の充実した交通結節機能のまち」を指すべきとする人が3割以上、「商店街の活気のあるまち」が約3割となりました。地区の将来像として、まず交通機能の充実をあげる人が多いとともに、駅前商店街の発展に期待する人も多いことが分かりました。

ひばりヶ丘駅北口地区の公共施設整備の将来像 「幹線道路や駅前広場に限り、整備されたまち」をあげた人が4割と最も多く、次に、現状の道路配置を活かし歩行者が安心して歩けるまち」が2割強となりました。幹線道路の整備とともに、細街路を安心して歩ける歩行空間として確保することへの関心が高いことが分かりました。

ひばりヶ丘駅北口地区の商業空間としての将来像 「駐輪・駐車場などの公共施設が充実した商業空間」をあげた人が3割強と最も多く、次に「個性的な商店街」が2割以上となりました。

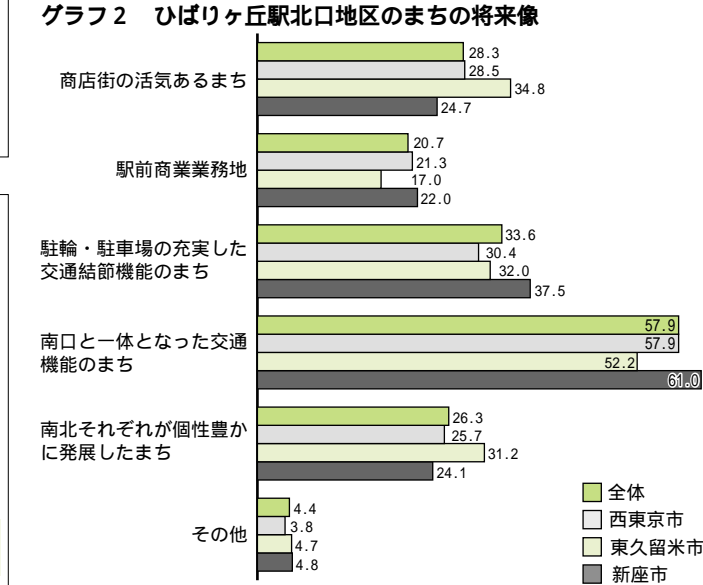
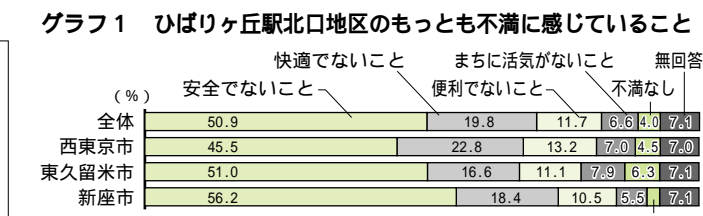
地域や性別、年代を問わず同じ傾向で、幹線道路、駅、駐輪・駐車場のための公共施設の整備と、歩車分離のための安全対策を重視していることが分かりました。

図1 アンケート調査に見られたひばりヶ丘駅北口地区のまちづくりに対する市民意向

幹線道路、駅前広場の整備とともに、駐輪・駐車場、公園、細街路などを一体的に整備し、駅を中心とした交通結節機能を充実させ、南北地区の一体性や商業集積としての利便性を高めるべき実現に向け、まず駅北口への幹線道路、南北を結ぶ幹線道路の整備と、駅舎の改善に取り組むべき

さらに、歩行者の安全性が確保されていない現状を改善するため、既存の道路配置を生かしつつ、車を排除して安心して歩ける歩行空間づくりが必要

そうした取り組みとともに、北口地区は個性的な商店街が並び活気のある商業空間を目指すべき



線道路の整備」をあげた人がそれぞれ2割以上で1位、2位を占め、以下、「駅の整備」「駅前駐輪・駐車場の整備」「現状での歩車分離による安全な通行の確保」となりました。

報告書ではひばりヶ丘駅北口地区のまちづくりの課題について、基盤整備の課題、優先的に取り組むべき課題を図1のように整理しました。

今後は、本調査結果を踏まえて、北口地区基本構想の策定に取り組んでいきます。

まとめ
アンケート集計結果を踏まえ、

ひばりヶ丘駅北口地区基本構想策定に向けた課題の整理

基盤整備の課題
通過交通の適切な処理と南北一体・連携によるまちづくりの推進
駅周辺の特徴を踏まえた北口の交通結節機能の総合的強化
地区内の回遊性、南北一体性の確保に向けた生活関連道路、駅施設の整備

優先的に取り組むべき課題

- 西3・4・21号ひばりヶ丘駅北口線の早期整備
- 西3・4・13号保谷秋津線の早期整備の促進
- 西3・4・20号武蔵境保谷線の早期整備の促進
- ひばりヶ丘駅北口のバリアフリー整備

・駅前駐輪・駐車場の確保
・幹線道路沿いや駅前地区の商業空間にふさわしい地区形成